

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

74号

平成30年7月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

第31回 福祉のつどい開催 ～踏み出す一歩 分け合う"しあわせ"～

初実施のフードドライブでは、たくさんのお食品寄付が集まりました



平成30年5月20日(日) 10時～15時、新町ドーム及びその周辺にて、「第31回福祉のつどい」を開催しました(主催：八幡浜市社会福祉協議会・八幡浜市ボランティア協議会)。雨の心配される中、当日は快晴となり、約2000人に来場いただきました。

31回目となる今回のテーマは、「出会い ふれあい 笑顔と感謝」踏み出す一歩 分け合う"しあわせ"。オープニングを飾った川之石高等学校書道部の書道パフォーマンスでは、音楽に合わせてダイナミックな演技を披露されました。そして毎年恒例となっている餅まきには、多くの方が訪れました。

八幡浜市初実施となった「フードドライブ」(詳細は2ページ下段に掲載)や、大洲市からゲスト出演いただいた人形劇サークル「へそ太郎」による人形劇、市内で活動するボランティア団体による展示販売や体験ブース、ステージプログラムにより、終始賑わいました。

以下、八幡浜市社会福祉協議会を「市社協」、八幡浜市ボランティア協議会を「ボラ協」と明記します。

第31回福祉のつどい

準備から心をこめて！笑顔の輪を広げ、しあわせを分け合おう

恒例の餅まき準備は前々日から

福祉のつどい恒例となっている餅まき用の餅は、多くのボランティアによって作られています。今年も、八幡浜市母子寡婦福祉連合会を中心に、八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団、ともしび会、八幡浜市民生児童委員協議会、その他ボランティア有志ら総勢50名で紅白の餅を作りました。

また、新町商店街振興組合の協賛により餅まきで配られる商品券は、精神保健ボランティアグループはまかせの皆さんがアメを詰めた袋に同封されます。開催前から、多くのボランティアが準備に取り組みました。



次々できあがる餅を手際よく丸める

当日は、新町ドーム内だけでなく、新町商店街アーケードまで広がり、ボランティア団体による体験ブースや市内の施設などによる手工芸品の販売が行われました。また、ステージプログラムでは、しゃぼん玉ショーや人形劇、歌、ダンスなど、多彩な演目が繰り広げられました。

31回目の福祉のつどいも、多くの方にご支援ご協力をいただき、盛況の元に終えることが出来ました。「新たな一歩」を踏み出し、「しあわせ」を共有し分け合う機会となりました。



点字名刺作りに挑戦！

多彩なプログラム・ブースでお出迎え！

フードドライブ始めました

「もったいない」を「ありがとう」に変える

今回の福祉のつどいでは、八幡浜初の取り組みであるフードドライブを実施しました。フードドライブとは家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉の団体や生活に困っているご家庭へお届けする活動です。当日は、市内外より56名の方にお米やインスタント食品、飲み物、お菓子など400点を超える寄付をいただきました。また、寄付をしていただいた方より「ささやかですがお役立てください」「たくさん食べてね！」「頑張って！」「分かち合おう！」などの言葉をメッセージカードにご記入いただきました。

株式会社あわしま堂並びに西南開発株式会社のように、企業からのご支援・ご協力が得られるよう、働きかけていきます。

食糧支援に関すること、生活の困りごとを抱えている人は市社協地域福祉課(☎23・2940)までご連絡をお願いします。

市社協では、八幡浜市より自立相談支援事業を受託し、年間約50世帯の新規相談を受けています。支援内容は、生活の立て直しに向けての相談・同行、医療・制度の利用支援、ボランティア活動を通じた意欲の向上、就労支援等です。相談の中でも多いのは、「お金がない」「しばらく何も食べていない」というニーズです。寄付で募った食品を提供することで、当事者が安心する大きな糧になっています。



フードドライブで募った食品

八幡浜市ボランティア協議会総会 役員改選により、新会長が決定しました

平成30年5月24日（木）19時～21時道の駅みなとオアシス八幡浜みなつとにて、平成30年度ボラ協総会が開催されました。

平成29年度の決算及び事業報告、平成30年度の予算及び事業計画の決議、2団体からの活動報告、そして役員改選が行われました。役員改選では、昭和63年のボラ協発足時より長年会長を務めてきた木村謙児 氏から、同じく発足時より長年ボラ協を支えてきた猪石 壮 氏へ会長職のバトンが渡されました。



新役員のみなさん
(右から4番目が新会長の猪石 壮 氏)

前会長 木村 謙児 氏

昭和63年発足当初より、30年の長きに渡り会員の皆様始め、市社協及び多くの皆様にご厚情を賜り感謝に堪えません。心より厚く御礼申し上げます。引き続き、猪石新会長にも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

新会長 猪石 壮 氏

この度、ボラ協を30年支えてこられた木村謙児会長から、バトンを受け取ることとなりました。ボラ協発足から関わっているとはいえ、やはり会長という立場は、架かるプレッシャーは大きいです。前会長の「出来る男」「素敵な笑顔」は、僕には真似できそうにはありませんが、それに匹敵するものを出していけたらと思います。

僕は「紡ぐ」という言葉が好きです。ボランティアの皆さん一人ひとりの力を「紡ぎ」、個人から団体、そして協議会の小さな力を紡いで、大きな力とできるよう、皆さんのお力をお貸しください。よろしくお願い致します。

給食サービ ス ボランティア研修会

平成30年5月10日（木）、八幡浜市保健福祉総合センターにて、給食サービスに関わるボランティアを対象に、研修会を行いました。給食サービスは、地区社会福祉協議会活動のひとつで、一人暮らし高齢者等に、手作りのお弁当をお届けしています。お届けした際には会話を楽しみ、地域での見守りにもつながっている大切な活動です。楽しみにされている方も多く、ボランティアのやりがいにもなっています。

今回、お弁当を作るボランティアも受け取って食べられる方も安心できるよう、お弁当を作る上で重要な衛生管理について学びました。

八幡浜保健所 食品監視グループの専門員 武田 尚彦 氏を講師に、細菌やウイルスを食品に移さないようにするための方法を教わりました。特に、手洗いに重点がおかれ、手洗いでどれだけ汚れが落せているのかを実験しました。汚れの落ちにくい部分を確認し、繰り返し手洗いをするなどの重要性を再確認しました。また、「私の地区の給食サー



正しい手洗い方法を実践で学ぶ

ビス自慢」と題して、意見交換をしました。食べる方の喜ぶ顔を思い浮かべながら、地域でとれた旬の食材、食欲の沸く彩りで、随所に工夫がなされていることなど、思い思いに語り合いました。楽しみに待たれている方のためにも、食の安全に配慮しながら、これからも美味しいお弁当を届けていきたい、という思いが伝わる研修会となりました。



主任児童委員の 菊池洋子さんに インタビュー！

菊池洋子さん 子育てサロンでにこやかに読み聞かせを行う様子

八幡浜市の子どももの 健やかな育ちのために

子ども・子育て家庭への切れ目ない支援を目指して

平成29年は、児童委員制度創設70周年でした。児童福祉法成立と同時に民生委員が児童委員を兼任することとなり、平成6年1月には、児童委員活動の充実や活性化を目的に主任児童委員が創設されました。

『ふれあい子育てサロン』は、平成15年から市内に随時誕生し、現在12のサロンが活動しています。

今回は、八幡浜市民生児童委員協議会主任児童委員部会会長の菊池洋子さんにインタビューに答えていただきました。

八幡浜市の主任児童委員さん について教えてください

八幡浜市には22人の主任児童委員がいます。それぞれ、仕事をしながら、家庭を守りながら、日々活動をしています。女性の割合は多いですが、男性もいます。

1期3年で厚生労働大臣より委嘱され、私は3期目となりました。

子育てサロンでは、どんな ことを心がけていますか

12のサロンそれぞれが、地区社協や民生委員と連携しながら、主に主任児童委員が代表のお世話人となり運営

しており、地区社協圏域内の親子を中心に受け入れています。内容はサロンによってそれぞれ違いますが、工夫をしながら取り組んでいます。

私が子育てサロンを開く中で目指しているのは、「参加してくれる親が緩んでくれる、ほっとできる場所」です。今、少子化の流れの中で、同世代の親子と新たに出会う機会がなかなか少ないのではないかと思います。サロンに来た親と親、子と子同士がつながる場所の一つとして、少しでもお手伝いが出来ていれば嬉しいのです。また、私たちお世話人と参加してくれた親子との関係は、サロンを卒業したら終わりではなく、身近で見守り続ける存在でありたいと思っています。

子育てサロン以外の活動について教えて下さい

自身の担当地区の小中学校との関わりでは、諸会議や入学式・運動会などの行事へ出席させていただいたり、あいさつ運動をしたりしています。その他、新たに赤ちゃんの生まれた家庭へあいさつに伺う「赤ちゃん訪問」なども行っています。主任児童委員部会として、毎年先進地へ視察に伺い勉強もしています。

近所のおばちゃん・おじちゃんの1人ですが、厚生労働大臣の委嘱を受けているので、守秘義務があります。また、行政や子育て関係機関とのつながりがありますし、視察などで勉強もしているため、何かお困りのことがあれば、安心して相談してほしいと思っています。

今年度からの新たな取り組みとして、皆さんに知ってもらうために、各地区の主任児童委員の名刺を作りました。名刺を見て受け取ることで、少しでも安心して下さると嬉しいのです。

これまでの活動の中で印象に残っていることはありますか

子育てサロンの活動では、やはりサロンでつながりが出来た親子の成長を身近で見守ることが出来るのは嬉しいですね。小中学校の行事に出席した時に、成長を実感することが出来ます。



また、街中や近所で親子に声をかけてもらった時には、サロンを続けて来て良かったと心から思えます。

地域の方々から「ちよつと気になる」という声が届いてきたのも嬉しいのです。主任児童委員は、民生委員が兼任している「児童委員」の中でも、児童に関することを専門的に担当することになっています。しかし、主任児童委員についての周知はまだ出来ていません。そこに課題は感じていますが、地域の方から「子どもとの相談は菊池さんへ」と少しずつ認識してもらってきているのは、喜びとやりがいにつながっています。

活動の中で、気になることや心配なことはありませんか

赤ちゃん訪問時などにサロンのお誘いをするのですが、そこからなかなかつながりが持ち辛い家庭は、少し心配になります。もちろん暮らし方は家庭によってそれぞれ違いますし、サロンに出来ないという選択もあると思います。ただ、子育てに一生懸命なあまり閉じこもりがちになったり、心配なことや困りごとがあっても誰に相談したら良いか分からなかったりと、不安なまま生活されていられないかな、と気にかかります。

各主任児童委員とも常々声をかけ合っているのですが、何事も「一人で抱え込まない・一人で悩まない」ことが大切だと思います。主任児童委員について知ってもらうための努力を引き続き行いながら、何か困った時、必要な時にふと思いついてもらえれば存在でありたいです。

最後に、地域のみなさんへメッセージをお願いします

先日テレビを観ていた時に、子育て支援をしている方が言われていた言葉にとても引き付けられたので、引用してご紹介します。

「子育て中のお母さんが無条件でホッと出来て、全部聴いてくれて、引き出してきてくれて、受け止めてくれる居場所

が大切」「お母さんの思うように育ててみたら良いよ」

良く言われることですが、『子は宝』です。主任児童委員としてたいそうなことは出来ないかもしれませんが、安心して相談できる身近な者として、子育て中の親子は元より様々な人・機関に知ってほしいと思っています。私は、「育む」という言葉が好きです。八幡浜市で生まれ育つ子ども達の健やかな育ちのために、地域のみなさんと共に見守り、出来る支援をしていきたいです。

私たち主任児童委員は、心で動いていきたい、と思っています。子育て中の方だけでなく、もちろん子どもさん自身からの相談も受け付けます。身近な相談役として顔と名前を憶えていただき、気軽に声をかけ合える関係性を築いていきたいと思っています。



『ふれあい・いきいきサロン』 『ふれあい子育てサロン』

ご紹介

サロンって？

仲間づくりや健康づくりを目的に、地域にお住まいの住民が気軽に集える場所がサロンです。八幡浜市では、主に高齢者が集まる場所を『ふれあい・いきいきサロン』、未就学児と親が集まる場所を『ふれあい子育てサロン』と呼び、各地区で開催しています。

ふれあい・いきいきサロンは、現在高齢者サロンが63ヶ所、その他のサロンが1ヶ所あります。高齢者サロンでは、はつらつ介護予防体操や口腔体操、料理教室や茶話会などを通して、楽しみながら生きがいづくりや介護予防を行っています。

ふれあい子育てサロンは、現在12ヶ所あります。茶話会や季節のイベントを取り入れた催しなど、集まった親子が楽しみながら顔馴染みになる居場所です。

サロンについて知りたい、立ち上げたい、参加したいなど、お問い合わせは左記まで。

市社協 地域福祉課
0894-23-2940

ふれあい 子育てサロン

えどおかポップ (江戸岡)

子どもたちの足スタンプで、こいのぼりを作りました。季節を感じながら、成長の記録に持ち帰られました。

その他、小さなお子さんが多いのでベビーマッサージを実施してリラクセス。最後に茶話会でお母さん同士の情報交換がなされました。



ふれあい・いきいきサロン

すずらん会 (松蔭)

今年度新たに立ち上がったサロンです。立ち上げに携わったお世話人さんに、きっかけを伺いました。

3回目のサロンでは、真網代くじらリハビリテーション病院の理学療法士さんにお越しいただき、「くじらリハビリカフェ」食事と体操で転倒予防」を行いました。

タオルを使った体操に取り組み、参加者皆で介護予防に努めました。



立ち上げのきっかけ

地域の役を受けて動いていくうちに、近所でも知らない方が多いことが少しずつ分かってきました。それから、声をかけ合うことが出来はじめ、楽しさを感じていました。

そんな折、地域の会合で、「サロンを立ち上げてみたら？」と他地区の方から提案をいただきました。近所の方にその話をする、「隣近所の交流がないので、出来たら少しでも顔見知りになりたい」「子どもの頃、田舎に住んでいた時は、誰がどこに住んどるか皆知つとったよな」「自分もこれから年を取っていく。近所の人たちと少しでも知り合いになったら、人生を楽しく、明るく、元気で生きていきたいよな」と、前向きな声が聞かれました。皆さんが力強く参加すると言って下さったので、立ち上げに至りました。

社協会費のご協力を お願いいたします

* 社協会費とは *

社会福祉協議会は、市民の皆さまが会員となつて、地域の福祉を進める活動に参加していただくことを目的とした団体です。全国に18,61ヶ所あります。

社協会費は、昭和47年より始めました。赤い羽根共同募金と並び、長年、八幡浜市の地域福祉を支えるための貴重な財源として役立てられています。

* 社会福祉協議会とは *

「こんな八幡浜市にしたい」「こんな八幡浜市に住みたい」「困っていることがある」「集う場所が欲しい」「こんな福祉サービスが必要」・・・市社協では、市民の皆様の様々な声のもとに、『すこやかな心ふれあうまちづくり』に取り組むため、住民や関係機関の皆さまにご参画いただき、地域福祉活動の推進に努めています。市民誰もが住み慣れた八幡浜で暮らしていただけるように、福祉の視点で地域に関わっています。市社協は、昭和26年に発足し、昭和37年には社会福祉法人（民間団体）となりました。

7月より、市民の皆さまにご協力を
お願いさせていただきます。社会福祉協議会の取り組みにご賛同いただき、地域福祉活動にご協力くださいますようお願いいたします。



平成29年度 社協会費納入実績（地区社協別）

地区社協名	会費納入額（円）
江戸岡	465,000
松蔭	598,000
白浜	723,415
千丈	587,000
神山	824,050
舌田	127,100
川上	223,400
真穴	300,300
双岩	261,500
日土	365,000
喜須来	561,500
川の石	652,500
宮内	760,100
磯津	126,500
合計	6,575,365

一般会費 500円
各世帯にご協力いただいています。

特別会費 1,000円
各世帯、個人、団体、企業の皆さまにご協力いただいています。

平成30年度
社協会費領収証

金 円也
上記のとおり受領しました
平成30年 月 日 殿

社会福祉法人
八幡浜市社会福祉協議会
会長 清家俊藏

お礼のことは
平素から社会福祉事業につきましてはご指導ご協力をいただき有難く厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。

平成30年度
社協会員の章

社会福祉法人
八幡浜市社会福祉協議会

社協会費を納入いただいた方にお渡ししています

八幡浜市・市社協 共催

新たな支え合いセミナー

「見守り活動」から
「見守られ活動」へ参加費
無料！

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どんな地域になれば良いのだろうか？
支え合う地域をめざして、私たちは何ができるのだろうか？
一人ひとりの“できる”で支え合う地域を目指して、みんなで「支え合い」を考えます。

日 時 平成30年7月31日(火)
13時30分～16時00分


会 場 JAにしうわ会館 5階スターホール
八幡浜市江戸岡1-12-10

対象者 どなたでも

参加費 無料

申込締切 7月25日(水)



1 部	講演 『「見守り活動」から 「見守られ活動」へ』	<p>講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏</p>  <p>1961年生まれの広島県人。知的障がい者施設、社会福祉協議会、認知症グループホーム、小規模多機能型施設の施設長を経て、2014年に「ご近所福祉クリエイション」を創設。ご近所福祉クリエイターの肩書の元、広島と仙台を拠点として、全国各地を講演行脚中。</p>
2 部	八幡浜にある それぞれの 支え合いのカタチ	<p>八幡浜で支え合い活動を実践している地域の方を招いて、“支え合い”をみなさんと共有します。</p> <p>【コーディネーター】愛媛大学 社会連携推進機構 教授 地域連携コーディネーター 前田 眞 氏</p> <p>【コメンテーター】酒井 保 氏</p>

お問い合わせ
・お申込み先

市社協 地域福祉課 ☎0894-23-2940